

【人づくり】

【担当課:産業振興課／農林水産課】	2024年度の 具体的な取組み内容	2024年度の 課題／困りごと、今後の見通し	該当するKPI ／参考数値	備考
-------------------	----------------------	---------------------------	------------------	----

戦略1 地域経済を支える・成長させる人材の育成、確保

[illegible]

【人づくり】

【担当課：産業振興課／農林水産課】	2024年度の 具体的な取り組み内容	2024年度の 課題／困りごと、今後の見通し	該当するKPI ／参考数値	備考
-------------------	-----------------------	---------------------------	------------------	----

戦略1 地域経済を支える・成長させる人材の育成、確保

課題)多様な就労ニーズを踏まえた働き方の提案と職場環境の充実を促進させること

●戦術2)多様な働き方の実現と就職支援の強化 ・若者、女性、子育て世帯、シニア、障がい者、外国人等の就労ニーズの把握 ・ワークシェアリングや副業等といった多様な働き方の促進 ・ビジネス教育訓練の強化を通じたデジタル人材や専門技術者の育成 ・業種を超えた再就職の支援	・広島労働局と廿日市が6月に「廿日市市雇用対策協定」を締結。相互に連携して、地域の強みを生かした雇用の拡大、人材育成など、産業施策と一体となった雇用対策を推進していく。【産業振興課】 ・独自の求人誌企画に取り組む。主婦・シニアの各ターゲットに分けて紙媒体を中心に作成。12事業者の求人情報と職場紹介を中心に構成。【廿日市商工会議所】 ・市内企業冊子の取材先と求人誌掲載情報を一元化し、市内の就職情報に特化したWEBサイト「WORKはつかいち」として運用する。【産業まちづくり委員会】 ・人手不足と外国人雇用に関するアンケートを行った。【産業まちづくり委員会】 ・地域の外国人人材派遣事業者と外国人材活用に関する意見交換会を2回実施した。【産業まちづくり委員会】 ・10月「ゼロから学ぶ外国人雇用セミナー」を実施。【産業まちづくり委員会】	・雇用対策協定のもと、産業振興課だけではなく、こども課や障害福祉課など横断的に雇用に関する施策を展開する。【産業振興課】 ・外国人活用施策立案のため、アンケート調査を実施。市内事業者の意識や問題点を抽出し分析する。【産業まちづくり委員会】 ・求人誌発行は、掲載希望が少ないため年2回の計画を年1回へ変更。【廿日市商工会議所】 ・人手不足解消のため、「特定地域づくり事業協同組合制度」については、必要性も含めて検討を要する。【佐伯商工会】 ・人手不足は業種全般に共通する課題。ハローワーク、民間求人サービスともにメリットとデメリットがある。良質な人材が採用できないという面での不足感もあると感じる。【大野町商工会】	ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる企業数【114社】	
	・昨年に引き続き、はつかいち就職ガイダンスを開催(9月)。宮島観光関連企業(13社)に加えて、雇用環境の改善に取り組む企業(5社)が特別出展した。【産業まちづくり委員会】 ・宮島観光関連企業13社。雇用改善企業5社。計18社参加。来場者数193名。就職実績11名(12月末時点)【産業まちづくり委員会】 ・職場環境の改善の必要性等、求人のポイント解説セミナー(6月)、新しい働き方としてのスキマバイトサービス活用セミナー(7月)を開催。【廿日市商工会議所】 ・多様な働き方セミナーを今年度2回開催予定 第1回は「子育て世代が働きやすい職場づくり」をテーマに8月開催。第2回は12月に「障がい者雇用促進」をテーマとしてハローワーク廿日市と共催で開催予定【産業まちづくり委員会】 ・「子育て世代が働きやすい職場づくり」セミナー参加者39人。「障がい者雇用促進」セミナー参加者33人。障がい者雇用促進セミナーはハローワークと共催実施済み。【産業まちづくり委員会】	・最新の転職市場動向と求職者が重視するポイント～選ばれる・働き続けてもらえる企業になるために～と題してセミナーを開催。【廿日市商工会議所】 次年度の就職ガイダンスは、子育て世代又は高齢者の働く環境を整えている事業者を集め、子育て世代及び高齢者を対象に開催を予定。【産業まちづくり委員会】 ・スキマバイトサービスのタイミーと連携し、説明会開催や利用サポートを通じて、事業者における活用を進めるスキームを準備中。【宮島町商工会】 ・外国人材の受け入れは、水産業(牡蠣)のほか宿泊業でも増加。牡蠣打ちは機械化できないため今後も状況は変わらないとみている。【大野町商工会】 ・島内住民の1割は外国人で、水産業・旅館業などに従事する外国人が既存コミュニティと共存している。【宮島町商工会】	ビジネス教育訓練や、デジタル人材育成に係るセミナー開催数【15回】	

【人づくり】

【担当課：産業振興課／農林水産課】	2024年度の 具体的な取り組み内容	2024年度の 課題／困りごと、今後の見通し	該当するKPI ／参考数値	備考
-------------------	-----------------------	---------------------------	------------------	----

戦略1 地域経済を支える・成長させる人材の育成、確保

課題) 地域資源・産業特性×デジタル技術による創業を支援すること				
●戦術3) 創業の支援 ・しゃもじん創業塾やビジネスプランコンテスト等の開催 ・しゃもじんキューブのあり方の見直し、機能強化	・しゃもじん創業塾を開催。今年度は創業支援補助金前に開催時期を早め平日夜に開催(7/9、7/16、7/23、7/30、8/6計5回)。今回も定員以上の申込があるなど盛況で41名が参加(延べ169名)。【産業まちづくり委員会】 ・創業予定者に対する創業支援補助金活用提案、しゃもじん塾受講への誘導を実施。創業支援補助金を5件申請。創業相談が数多く寄せられており、上半期の新規創業件数は7～8件。【佐伯商工会】 ・今期の創業件数はまだ少ない。商工会が関与しない新規開業は4～5店舗。【大野町商工会】 ・新店舗の開業は、地元事業者の業態変更や空き店舗活用を含めて、飲食・物販関係を中心に10店舗近くある。創業塾参加者(1名)から創業相談あり。【宮島町商工会】 一般部門 17件、学生部門 15件、計32件(過去最多応募)書類審査により、一般部門5名、学生部門3名を選定。この8名が3/8のコンテストにてビジネスプランを発表し優勝者が決定した。【産業まちづくり委員会】	・創業塾には会議所、各商工会の経営指導員も参加したことから、各エリアでの創業にむけた支援や補助金申請に結びつけることができた。ビジネスコンテストも含めて今後も創業機運の醸成、創業件数の増加へつなげたい。【廿日市商工会議所】 ・創業塾の参加者は趣味の延長で人とのつながりを求め、地域を盛り上げようという目標の人が多い印象。【大野町商工会】 ・創業塾のプランは利益が少なくビジネスになりにくいものが増えている印象。【佐伯商工会】 ・重要伝統的建造物群保存地区内で店舗(2店舗)の開業予定があり。【宮島町商工会】 ・創業時の融資は条件が厳しく、創業者に対するバックアップ手段が少ない。市の創業支援補助金は創業計画策定の動機付け、目標設定にも有効であることから継続してほしい。【佐伯商工会】	創業支援事業計画を活用した市内創業者数【110人】	
課題) コロナ禍における事業承継の対策強化を図ること				
●戦術4) 事業承継、第2創業の支援 ・事業承継や第2創業を促進させるセミナー開催やマッチング	・個人事業・中小企業のための事業承継セミナー～事例から学ぶ失敗しないポイント～と題し、金融機関、県事業承継・引継ぎ支援センターと連携して初めて事業承継セミナーを開催し、30人参加(7月)。M&A事例や第三者承継の選択肢などを提示し、啓発を図った。【廿日市商工会議所】 ・廿日市市内事業者約750事業所をピックアップし、市内事業所を訪問アンケート調査及び簡易版BCPについての周知・説明を実施 アンケート調査 訪問件数:350件 【産業まちづくり委員会】	・事業承継プッシュ型支援として、規模や立地に応じた事業承継・継続をテーマに個別訪問事業の準備中。年内に500社程度実施し、結果をもとに来年度の展開(個別相談等)を検討する予定。【廿日市商工会議所】 ・居抜き物件のマッチングなどの相談案件がいくらかある。一定規模の企業のM&Aは銀行系、コンサルタント等が入って進んでいる例が多い。【廿日市商工会議所】 ・事業と雇用が持続し、資産・設備などを生かすことができるM&Aは一定規模の事業者の実施例あり。経営をよくして売却するという考えの経営者が増えている感触はある。【大野町商工会】 ・周囲に知られたくないという意識が強く、事業承継についての相談は非常に少ない。【宮島町商工会】 ・50～60代の経営者の後継者が不在。店舗一体型住宅のため第三者継承が困難、廃業して顧客を同業者に引き継ぐという考えが主流のため、10年後には事業所の大幅な減少も予測される。【佐伯商工会】	産業支援機関等を活用した事業承継成立件数【5件】 産業支援機関等を活用した空店舗等の再生件数【10件】	

【人づくり】

【担当課：産業振興課／農林水産課】	2024年度の 具体的な取組み内容	2024年度の 課題／困りごと、今後の見通し	該当するKPI ／参考数値	備考
-------------------	----------------------	---------------------------	------------------	----

戦略1 地域経済を支える・成長させる人材の育成、確保

●戦術5)商店街等のリーダー育成と多様なプレイヤーの呼び込み ・空き店舗等の活用 ・持続可能なにぎわいづくりや地域課題を解決するビジネスの支援	・商店街活性化担当の支援員が商店街の各イベント会議に参加し、例年にない取組等（広告周知、企画等）の提案を行い、イベント集客を向上させている。また、山陽女子大学の学生と、2つの商店街が連携し、商店街まち歩きや学園祭出展など賑わいづくりに貢献している。【産業振興課】	・企業版ふるさと納税を活用し、商店街に人が集まるにぎわいスペースの設置を検討している。【産業振興課】 ・R7年度空き地を活用し賑わいを創出する空間を整備予定。【産業振興課】 ・商店街は人材不足や事業承継が課題。地方創生の取組みに対する企業版ふるさと納税型公募事業（信金中金）による寄付金活用等について地域支援員による側面支援を継続的に実施してほしい。【廿日市商工会議所】 ・地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業への取組により業態変更を含む店舗改装等が一気に進んだ。廃業後の店舗には新たな事業者が入る例が多く、空き店舗はほとんど生じない。【宮島町商工会】		
	・空き家バンクを活用した情報提供、創業者や移転者の新店舗の当地区での開業への後押しを行った。【佐伯商工会】 ・津田商店街にて”津田商店街ココから2DAYS”を開催したが、天候不順により取組内容を縮小して実施。【佐伯商工会】 ・会員事業者が多く参画している吉和農援隊が積極的に活動し、吉和の新たな魅力づくりを展開中。【佐伯商工会】	・廿日市市空家バンクのさらなる充実として、補助額のアップや申請期間の延長、通年を通しての恒常的な施策の実施と継続が望まれる。所有者に対してインセンティブを付与し、登録が増加するような施策、改装・修繕費用の助成制度の要望がある。【佐伯商工会】 ・津田商店街での取組は、財源の確保、天候、開催会場の都合による実施時期の難しさなどが課題。市商店街活性化補助金を活用して「津田商店街を創る会」先進地視察（安芸太田町）の継続実施。【佐伯商工会】 ・佐伯地域、吉和地域の各地区に地域支援員が配置され、世話役になったり、地域に根差したビジネスを起こそうとする人もいるなど、市の仕組みがうまく機能している。【佐伯商工会】		

【循環させる】

【担当課：産業振興課／農林水産課】	2024年度の 具体的な取り組み内容	2024年度の 課題／困りごと、今後の見通し	該当するKPI ／参考数値	備考
-------------------	-----------------------	---------------------------	------------------	----

戦略2 市内を縦断する食産業「フードバレーはつかいち」の創出

課題)食品製造業との連携のもと、多様な担い手の育成や生産性の向上を図ること 食育の推進により地産地消や健康づくりへの理解が深まること 環境との共生やSDGsへの対応により持続可能な経済活動に取り組むこと				
●戦術6)農業の多様な担い手の育成と経営力の強化 ・認定農業者や新規就農者の育成 ・集落法人や農作業受託組織の支援 ・民間企業や半農半X など地域農業を支える多様な担い手の育成 ・DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進等によるスマート農業の推進	・認定農業者、新規就農者の育成について、市農業指導員を中心に経営改善計画の相談、技術的支援を行っている。【農林水産課】 ・佐伯地域の農作業受託組織への機械導入支援などを行った。【農林水産課】 ・佐伯地域、吉和地域の苺事業者(3社)、葱生産者、ルバーブ生産者などに対して、経営者・商業者としての支援を実施。有機農業など自分たちの考え、思いを持って農業に取り組む生産者群も存在する。【佐伯商工会】	・認定農業者など主な担い手は、独自のルートを持っている生産者が多いため、その状況把握が必要。また、こうした動きに連動した流通の仕組み作り、新たな売り先の確保など、生産量を増やす取り組みが必要。【農林水産課】 ・認定農業者など主な担い手は、流通の仕組み作り、新たな売り先の確保など、生産量を増やす取り組みが必要で、課題となっていることから、担い手に対する勉強会(研修会)を開催したほか、若手生産者を中心に「廿日市美味しいプロジェクト」が進んでおり、市も伴走支援を行っている。【農林水産課】 ・苺事業者(3社)の連携は、主にイベントの共同出展や商品開発の調整である。今後、人手不足時の相互扶助や苗の共同確保など生産に関してももっと積極的な連携を図ることで収益性を高める必要がある。【佐伯商工会】	JA産直市場の売上高【2.2億円】 認定農業者数【42】 認定農業者の内スマート農業に取り組む者【10】	

【循環させる】

【担当課：産業振興課／農林水産課】	2024年度の 具体的な取り組み内容	2024年度の 課題／困りごと、今後の見通し	該当するKPI ／参考数値	備考
-------------------	-----------------------	---------------------------	------------------	----

戦略2 市内を縦断する食産業「フードバレーはつかいち」の創出

課題)食に係る商品やサービスの価値を高めること
食育の推進により地産地消や健康づくりへの理解が深まること
環境との共生やSDGsへの対応により持続可能な経済活動に取り組むこと

●戦術7)水産業の6次産業化の推進と環境の保全 ・瀬戸内海の景観を活かしたかき小屋等のロケーションビジネスの展開 ・水産資源を活かした新商品の開発、ブランディングの促進 ・かき筏等の処理対策等による環境保全の推進	・市内処理業者の一般廃棄物処理業の限定許可取得に向けて、循環型社会推進課が手続きを進めている。【農林水産課】 ・昨年に引き続き、大野町漁協で廃フロートの粉碎式減容機が導入され、フロートの減容処理を実施する予定。(処理されたフロートは業者が回収後、燃料として利用)【農林水産課】 ・昨年に引き続き、大野町漁協が廃竹専用チップパーの開発業者(TEGO)と連携し、塩屋漁港で廃筏のチップ化処理を実施(処理後のチップは雑草対策の敷設材として活用)。3月末にはTEGOの提案を受け、市役所駐車場内において雑草対策試験を実施。【農林水産課】 ・市補助事業(漁業経営力強化事業)を活用し、地御前漁港のかき殻一時堆積場に防臭対策用の散水ポンプの設置工事を行った。(大野町に続き、2箇所目の設置)【農林水産課】	・市内処理業者への一般廃棄物処理業の限定許可の取得に向け、3月上旬に業者選定委員会を開催しており、次年度早い段階で許可できるよう循環型社会推進課で調整している。【農林水産課】 ・フロート処理に関しても、漁業者の意識改革などの課題が残るが、処理量が増えればコストダウンが見込まれ、その他の漁協への波及も期待される。【農林水産課】	漁業生産額【27億円】 漁獲物・収穫物の出荷先として「流通業者・加工業者」や「直接販売」を行っている経営体の割合【0.78】	
	・昨年に引き続き、広島県が廿日市浄化センターにおいて、海域の栄養塩類と水産資源(かき)の回復を目的とした能動的管理運転試験を10月から開始している。(期間：R5～7を予定)【農林水産課】 ・かき養殖漁場の底質改善を目的に、かき殻散布及び海底耕耘の効果検証試験を地御前海域で実施した。【農林水産課】 ・宮島に飛来するカワウ対策として、県、国(森林管理署)、漁協と連携し、9月以降にテープ張り等の防除対策を実施した。また、3月下旬に市捕獲班と連携しカワウの銃器捕獲を実施した。【農林水産課】	・能動的管理運転については漁協から強い要望や期待があるため、引き続き、地御前海域を対象とした検証試験が実施できるよう、県や廿日市浄化センターと連携が必要。【農林水産課】 ・今期は牡蠣の生育状況が悪いほか、価格が上昇していることから売れ行きへの影響が懸念される。気候変動が水産業に与える影響は大きく、漁業においても漁獲量が減少している。【大野町商工会】 ・気候変動により水産資源の減少、牡蠣の生育の遅れなどの影響が出ている。【宮島町商工会】 ・カワウ対策については、関係法令を考慮した上で、より効果的な対策を見極めながら、関係機関や他市町と連携した取り組みが必要。【農林水産課】 ・カワウの問題は未解決で、枯れ木の範囲が広がり景観がさらに悪化している。【農林水産課】		
	・木野川において、放流アユの定着性向上に向けた、適地放流効果の検証試験を実施(吉和川漁協へ委託)。【農林水産課】	・木野川のアユ定着性については、例年、河川環境に変化があることもあるため、経年的な比較調査が難しい状況にある。定量的な調査が難しい中で、より効果把握ができるよう、委託先(吉和川漁協)と調査手法を見直す必要がある。【農林水産課】		
	・改良メダカの聖地としてPRを行うため、市役所ロビーにおいて改良メダカのPR展示を実施した。また、改良メダカの品評会及びメダカまつりを春と秋の年2回開催した。【農林水産課】	・改良メダカのPRに関して、現在のところ市内のメダカ販売業者が1社(めだかの館)しかない中で、発祥の地としてPRする必要性について整理が必要。祭りや品評会の開催についても同様であり、農林水産課として実施することの是非についても整理が必要。【農林水産課】		

【循環させる】

【担当課：産業振興課／農林水産課】	2024年度の 具体的な取り組み内容	2024年度の 課題／困りごと、今後の見通し	該当するKPI ／参考数値	備考
-------------------	-----------------------	---------------------------	------------------	----

戦略2 市内を縦断する食産業「フードバレーはつかいち」の創出

課題) 交流や体験、情報発信を通じて、はつかいちの食の魅力を知ってもらうこと
食育の推進により地産地消や健康づくりへの理解が深まること
環境との共生やSDGsへの対応により持続可能な経済活動に取り組むこと

●戦術8)食の現場ツーリズムの立ち上げ ・食品工場や和菓子店、飲食店、かき養殖、果樹農園、農産加工工場等の食関連事業者の現場を訪ねる、学ぶ、食べられるツーリズムの商品化、ブランディング	・既存の飲食店データベース「はつまし」をベースにした新しいブランド「モッタイナイ廿日市」を立ち上げ。食品ロス啓発運動、地産地消推進運動と合わせて食に関する情報を一元化し相乗効果を図る。【産業まちづくり委員会】 ・まんぶく倉ちゃんのYou Tube動画企画を休止し、ショート動画配信を開始。またインスタライブも試験的に開始した。【産業まちづくり委員会】 ・菓子業者(6社)による研究会を立ち上げ、販路開拓などについて検討中。はつこいマーケットにて地元手みやげフェアを9月下旬に開催。インバウンド向けにも展開する。【廿日市商工会議所】	・「モッタイナイ廿日市」は、SNSやグーグルマップと連動させ、一定のフォロワー数を獲得しており、情報発信力を確保できている。【産業まちづくり委員会】	観光農園来客者数【6,600人】	
---	---	--	------------------	--

【循環させる】

【担当課：産業振興課／農林水産課】	2024年度の 具体的な取り組み内容	2024年度の 課題／困りごと、今後の見通し	該当するKPI ／参考数値	備考
-------------------	-----------------------	---------------------------	------------------	----

戦略2 市内を縦断する食産業「フードバレーはつかいち」の創出

課題)生産者と実需者の取引を盛んにすること
食育の推進により地産地消や健康づくりへの理解が深まること
環境との共生やSDGsへの対応により持続可能な経済活動に取り組むこと

●戦術9)地元農産物と観光等をつなぐ地産地消の仕組み	・広島フードフェスティバル(10月開催)の廿日市ブースに出展するための調整を市内経済団体と進めている。【農林水産課】	・地産地消宣言店の取り組みを広く知ってもらい、掲載店を増やしていくほか、市内経済団体と連携して、効果的なPRを行っていく必要がある。【農林水産課】	地元の食材を提供するホテル旅館及び飲食店【10】	
・宮島及び宮島口、宮浜温泉等の観光事業者や市内飲食店等での消費を促す地産地消の仕組みの検討、構築	・市内経済団体と連携し、はつめしプロジェクトを進めていくため、地産地消宣言店の掲載店を増やす取り組みを進めている。【農林水産課】	・宮島では市外からの原料調達が多く、地産地消に積極的に取り組んでいる旅館、飲食店は2事業者程度である。【宮島町商工会】	市内の農林水産物を購入している市民の割合【37%】	
	・「廿日市市農水産物カタログ」を飲食業、小売業向けに配布し、地産地消宣言店の掲載店を増やす取り組みを進めている。【農林水産課】			
	・8～11月の第3日曜日(計4回)に、まちの駅ADOA大野で、生産者団体、市内経済団体と連携した「オーガニック野菜マルシェ」を開催している。【農林水産課】	・マルシェの振り返りを行い、集客力のあるADOA大野を活かした今後の施策展開の検討が必要。【農林水産課】		
	・ADOA大野で大野あさりの販売を行っているが、生産は不安定な状況にある。【農林水産課】	・ブランド維持のため、大野あさりの安定生産・供給が必要である。【農林水産課】		
	・あさりは生産が不安定で価格が上昇している。【大野町商工会】	・苺の地域ブランドを確立するためには、まだ多くの検討する事項ややるべきことがある。初期投資として多額の資金が必要となるため行政の支援も求む。【佐伯商工会】		
	・苺事業者3者「苺キングダムプロジェクト」を支援し、苗生産の内製化や新たな商品開発に向けた助言等を行っている。【佐伯商工会】			

【循環させる】

【担当課:農林水産課／産業振興課】	2024年度の 具体的な取組み内容	2024年度の 課題／困りごと、今後の見通し	該当するKPI ／参考数値	備考
-------------------	----------------------	---------------------------	------------------	----

戦略3 森林の育成から木の消費までを結ぶ「木のたびネットワーク」の形成

課題)木のまち・はつかいちを牽引する、多様な事業者やグループを支援すること 環境との共生やSDGsへの対応により持続可能な経済活動に取り組むこと	
●戦術10)木のまち・はつかいちを牽引する企業／挑戦するグループ等の集中支援	
・木材関連製造業、けん玉メーカー、伝統工芸品の担い手、木工デザイングループ、アップサイクル事業者、林業事業体等の育成、商品開発、販路開拓、情報発信、人材確保等の支援	
・宮島細工の普及やPRを目的に、令和6年度から地域支援員を1名採用。第50回宮島特産品振興大会を自身も宮島轆轤を学んでおり、宮島細工の後継者として期待される。【産業振興課】	・宮島伝統工芸品の職人等にスポットを当て、伝統工芸品の歴史的価値、人物的価値を伝える工夫により、宮島伝統工芸のブランド価値の向上を目指す。【産業振興課】 ・宮島特産品振興大会(10月審査、11月宮島産業まつりで展示)は50周年を迎える。受賞作品を厳島神社で公開するほか、地域支援員の企画により募集作品に加えて古い作品や名工の道具等の展示を行う予定。【宮島町商工会】
・宮島伝統産業会館と宮島歴史民俗資料館の機能を併せもつ新ミュージアム基本計画を策定。歴史・伝統を学び、体験できる施設として整備の検討を進めている。【産業振興課】	・宮島歴史民俗資料館と宮島伝統産業会館の機能を持った新ミュージアムは令和10年度の完成を目的に、整備を進めていく。【産業振興課】 ・宮島歴史民俗資料館と宮島伝統産業会館の機能を持った新ミュージアムは令和11年度の完成を目的に、整備を進めていく。【産業振興課】
・けん玉ワールドカップの開催に併せて、木工教室や木製玩具で遊べる場の提供など、木とふれあうイベントも開催した。【けん玉WC実行委員会】 ・はつかいち観光協会、広島西部木材振興協同組合と連携し、木の伐採から製品になるまでを体験できる「木のたびツアー」を令和7年3月29日に開催予定。【産業振興課】	・R7年は11月に開催日を変更。また、廿日市産のけん玉のペイント募集を廿日市市内の小学校の生徒中心に募集しているが、関西、関東などから会場に来られる方にも、参加出来る枠をもうける。【けん玉WC実行委員会】
・浅原地区が上田宗箇流と縁が深いことから地域の作家(木工、鍛金)と連携し、茶器等の商品開発中(継続)【佐伯商工会】	・広島駅「ミナモア」内のDoTSを活用し、「木のまち・はつかいち」(宮島伝統細工、けん玉、市内木工事業者)を全面的にPRする。【産業振興課】
・「めぐる・宮島」(伝統工芸のブランドの持続・向上支援事業)の商品群について、都市部への出展などを検討しているが実現していない。昨年度の商談で成立した取引は継続している。【宮島町商工会】	
・11月に宮島町にてポップアップショップを開催し、インバウンド向けテストマーケティングを実施。(木工関連事業者が参加)【佐伯商工会】	

課題)木のまち・はつかいちとして、森林・林業の育成や市産材の活用、持続可能な森づくりに取り組むこと 環境との共生やSDGsへの対応により持続可能な経済活動に取り組むこと				
●戦術11)産官連携による市産材活用の仕組みの構築、事業化 ・市産材活用を促進する制度設計、試行、事業化 ・公共空間や建築、製品等での市産材の利用促進	・保育園で利用する木材遊具を、市産材で製造している。【農林水産課】 宮島幼稚園、池田保育園に市産材で製造した木材遊具を納品、設置済み。【農林水産課】 ・佐伯総合スポーツ公園に設置する備品(机、椅子、ベンチ)を、市産材を活用して製材を行っている。【農林水産課】 佐伯総合スポーツ公園に設置する備品(机、椅子、ベンチ)を製造して納品済み。【農林水産課】	・林業振興ビジョン作成のための調査を実施するにあたって、必要な情報の精査。市内林業や木材関連産業の実態をどのように把握していくかが課題。木材関連産業の実態を把握し、今後の市産材活用の方向性を検討する。有識者や関係者に話を聞き、必要な情報の取得に努める。【農林水産課】 業者と業務委託契約を締結し、実態調査や資料収集を行っている。3月12日に広島県西部木材振興協同組合へヒアリング実施。【農林水産課】	市産材支給を受けて建設した公共建築物等の数【5施設】 地域産業資源(木製品)について知っている市民の割合【50%】	

【呼び込む】

【担当課：観光課／宮島水族館／産業振興課】	2024年度の 具体的な取組み内容	2024年度の 課題／困りごと、今後の見通し	該当するKPI ／参考数値	備考
-----------------------	----------------------	---------------------------	------------------	----

戦略4 観光まちづくりのマーケティング／マネジメント機能の強化

課題)マーケティング／マネジメント機能を備えた観光地づくり＝観光地経営を実現すること 環境との共生やSDGsへの対応により持続可能な経済活動に取り組むこと				
●戦術12)レスポンスブルツーリズム(※)の推進 (※)旅行者も含む責任ある観光 ・宮島でのテイクアウトの拡大や食べ歩きの定着にともなうゴミ問題等への対応	・宮島口旅客ターミナル前と宮島おもてなしトイレ前に、lotスマートゴミ箱「SmaGO」を設置し実証実験を開始(8/8～11/15)【観光課】 ・おもてなしトイレにSmaGO(スマゴ)を実験的に設置。多くのゴミが集まっており、ごみの処理や鹿の対策などの課題が見えてきている。【宮島町商工会】 ・観光マナー啓発・PR、マナー啓発イベントについて準備・調整【観光課】 ・観光マナー啓発・PR用の広告物や動画を作成・周知、マナー啓発イベント(旅先クイズ会)を計7回実施。【観光課】 ・7/6に海岸清掃イベント「きらっと宮島プロジェクト」を開催。清掃活動と共に干潟に生息する「スナガニ」などの生態を学んだ。また9/30に同様の清掃活動イベントを開催予定。【宮島観光協会】 ・書面での総会を開催するとともに、協議会構成団体への個別ヒアリングを行った。また、運営部会を立ち上げ1回開催(7月)した。【観光課】 ・エコツアー認定事業者第1号のえびす屋の人力車コンテンツを造成し、HPとパンフレットを作成した。【観光課】 ・青年部活動として、オーバーツーリズム解消にむけて観光客を分散させる目的で、通りに名称をつけてSDGsマップに掲載して周知する取組を実施。【宮島町商工会】	・実証実験後の運用について、廃止、継続、増設について要検討。【観光課】 ・実証実験後も引き続き運用していくが、地域一体となって対策を検討・実施していく必要がある。【観光課】 ・観光マナー啓発・PR(11月～)、マナー啓発イベント(9～11月)の実施予定【観光課】 ・マナー啓発イベントは継続して実施していくが、地域一体となって実施していくことが重要となる。【観光課】 ・協議会構成団体やプレーヤーの巻き込みが不十分である。今後は、運営部会を通じ、エコツアーの造成・販売に向けて調整していく。【観光課】 ・まずは新規コンテンツを増やしていく必要があり、一定程度数が整った時点で、販路を拡大していく必要がある。【観光課】 ・11/16,17に行われる「宮島産業まつり」内の1ブースを借り、「かき殻」を活用した植木鉢づくりを体験するとともに、現在問題となっているかき殻再利用事業の現状について学ぶSDG'sワークショップ「牡蠣つと宮島DIY」を開催。【宮島観光協会】	情報のわかりやすさ、入手のしやすさに満足している人の割合【70%】	

【呼び込む】

【担当課：観光課／宮島水族館／産業振興課】	2024年度の 具体的な取り組み内容	2024年度の 課題／困りごと、今後の見通し	該当するKPI ／参考数値	備考
-----------------------	-----------------------	---------------------------	------------------	----

戦略4 観光まちづくりのマーケティング／マネジメント機能の強化

課題) デジタル技術の導入等により、観光関連産業の生産性を向上させること／マーケティング／マネジメント機能を備えた観光地づくり＝観光経営を実現すること
稼ぐ力を備えた観光関連産業への成長を促進させること / 環境との共生やSDGsへの対応により持続可能な経済活動に取り組むこと

●戦術13) ストレスフリーな観光地づくり ・DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進による新しい観光事業や移動手段の検討、展開	・観光DMPの構築 R5年度蓄積したデータについてはさらなるデータの蓄積と、新たなデータの格納(人流、アンケートデータなど)を行う。また、データ活用について両観光協会との定例会等を実施する。【観光課】 ・定例会とは別主体の情報発信部会により、デジタルマーケティング・プロモーションの検討・試行【観光課】 ・当協会売店スペースを閉鎖・改装し、案内所カウンターの拡充及び、ロッカ-満扉時の手荷物預かりスペースの作成・車椅子集のスペースを作成。(7/22完了)。 また、不足していた「大型コインロッカ-(14扉分)」と、コインロッカ-用の両替機を増設。また、需要の高い「外貨両替機」を設置し、日本人・インバウンド双方のストレスフリー観光の機能増強を行った【宮島観光協会】 ・宮島口駐車場や宮島ロープウェイの混雑状況の可視化、観光マナー啓発・PR、マナー啓発イベントについて準備・調整【観光課】 ・AIカメラとの連動を図る為、商品購入のお客様でのアンケートの実施で、年代別購入の傾向や欠落品群の調査を実施する。【はつかいち観光協会】 ・キャッシュレス化推進セミナーを実施(9月)したが、参加者が少なかった。【宮島町商工会】	・観光DMPの構築 継続的に定例会を行い、また、宿泊事業者等への報告会を実施していく予定だが、蓄積したデータの観光協会や事業者等にとって利用価値のある活用方法を検討する必要がある。【観光課】 ・宮島観光協会公式LINEアカウントから引き継いでいる「ストレスフリー観光」の柱でもある宮島島内の助成+多目的トイレの利用状況を示す「トイレ利用状況」サービスについて、サービス提供元が令和7年10月をもってサービスを終了するとの通知があり。提供元の後継として紹介されたところでは、ランニングが倍以上になる見積が出てきており、現在代替サービスを検討中だが、現時点では次年度のサービス継続が困難な状態。【宮島観光協会】 ・宮島口駐車場や宮島ロープウェイの混雑状況の可視化(11月～)、観光マナー啓発・PR(11月～)、マナー啓発イベント(9～11月)の実施予定【観光課】 ・宮島口エリアに大型ビジョンを設置し、混雑状況の可視化を図り、マナー啓発イベントは継続して実施していくが、地域一体となって実施していくことが重要となる。【観光課】	情報のわかりやすさ、入手のしやすさに満足している人の割合【70%】	
--	--	---	-----------------------------------	--

【呼び込む】

【担当課：観光課／宮島水族館／産業振興課】	2024年度の 具体的な取組み内容	2024年度の 課題／困りごと、今後の見通し	該当するKPI ／参考数値	備考
-----------------------	----------------------	---------------------------	------------------	----

戦略4 観光まちづくりのマーケティング／マネジメント機能の強化

課題)近隣商圏からの誘客を図るマイクロツーリズムの普及・定着を図ること / 稼ぐ力を備えた観光関連産業への成長を促進させること
環境との共生やSDGsへの対応により持続可能な経済活動に取り組むこと

●戦術14)マイクロツーリズムの普及・定着／「適疎」コンテンツの充実 ・近隣圏域からの誘客と地域ファンの獲得推進 ・地域資源等の魅力再発見 ・地域のネットワークづくり ・密を避けることができる、中山間地域や離島ならではの「適疎」コンテンツの充実（自然体験、アクティビティ、エコツーリズム、ワーケーション、リモートワーク等）			観光消費額【310億円】 宿泊観光客数【70万人】	
	・学校の先生向けにオンライン商談会の実施（12月上旬）及びWEB広告による告知【宮島水族館】 ・廿日市市観光課が主催するファミツアー（施設案内・商談会）への参加【宮島水族館】 ・オンラインセミナーの実施（12月ではなく1月） 申し込み5者、当日参加3者【宮島水族館】	・SDGsプログラムの申し込み数が少ない【宮島水族館】 ・昨年度まで関東方面の旅行会社への営業を行っていたが、認知度が低いことから先生向けのオンライン商談会を導入。（12月）集客人数は10名～20名を想定。【宮島水族館】 ・商談会の規模が小さいため、先生の目に触れる機会が少ない【宮島水族館】 ・今後は、SDGsプログラムではなく、現行の干潟観察会や学校等への講演を充実させていく【宮島水族館】	観光客一人当たり消費額【4,000円】	
	はつかいち森のあそび場協議会 ・野外体験プログラムの造成、地元教育委員会等への説明による周知 ・廿遊会と連携した修学旅行商品の旅行代理店、学校向けPRへの参加 ・マツダスタジアム「わがまち魅力発信隊」におけるPR事業実施、「ひろしまスタジアムパークフェスタ」におけるPR事業実施 ・Instagramによる情報発信、ノベルティグッズの作成と活用による広報活動の実施【佐伯商工会】	はつかいち森のあそび場協議会 ・宮園小学校野外活動受入れ対応（10月） ・はつとり野外体験モデルプランの営業＆発信 ・体験プログラム、ガイドの磨き上げ ・造成した商品の販売方法に課題あり【佐伯商工会】		

【呼び込む】

【担当課：観光課／宮島水族館／産業振興課】	2024年度の 具体的な取り組み内容	2024年度の 課題／困りごと、今後の見通し	該当するKPI ／参考数値	備考
-----------------------	-----------------------	---------------------------	------------------	----

戦略4 観光まちづくりのマーケティング／マネジメント機能の強化

課題)ポストコロナ期に向けたインバウンド観光の復活を図ること
環境との共生やSDGsへの対応により持続可能な経済活動に取り組むこと

●戦術15)インバウンド観光の復活・市内回遊促進 ・国内在住外国人の誘客推進、インバウンド受入環境整備の充実、インバウンド対応人材の育成、市内回遊促進施策の展開	・インバウンド受入環境整備の充実として展開しているタブロイド紙「HERE」の新規参画事業者を10社見込む。これまでに40～50社が参画して継続発行中。【産業まちづくり委員会】 ・島内5事業者が参加してインバウンド向けの体験コンテンツ「宮ぶる」(高価格帯、英語対応ガイドつき)をとりまとめ、ツーリズムエキスポに出展。冊子(英語表記あり)を旅館組合等に配布して周知予定。【宮島町商工会】 ・ヴィーガンに関する調査を実施。すでにヴィーガン対応している5事業者にヒアリングにて現状分析を行った。各個店の取り組みでなく地域としての戦略が展開できないか模索し企画を提案する。【産業まちづくり委員会】 ・6/25～6/28に訪問団を迎え、新たな協定書の調印や交流レセプション、若き経営者との交流などを開催した。また、食の交流イベントとして、8/31～9/3に仏シェフの来店に合わせ、ガストロノミーイベントや市内生産者等との交流を図った。【観光課】	・インバウンド向けの情報が一元化されていることは重要であり、インバウンド誘致に向けた機運醸成に継続的に取り組む。【廿日市商工会議所】 ・通訳が同行しない外国人の団体客とのコミュニケーションに苦慮する店舗があるため、多言語対応について継続的に実施していく必要があると感じる。【宮島町商工会】 ・菓子業者(6社)による研究会が、はつこいマーケットにて地元手みやげフェアを9月下旬に開催。インバウンド向けにも展開する。【廿日市商工会議所】 ・11月に宮島町にてポップアップショップを開催し、インバウンド向けテストマーケティングを実施。【佐伯商工会】 7社が参加し訪日外国人等から商品に関する様々な意見を聴取した。今後はそれを活かした展開をどうするかが課題【佐伯商工会】 ・インバウンド市場への参入を促すセミナーを3回シリーズで開催予定。後半2回はヴィーガンにテーマを絞り、対応店の増加を狙う。【産業まちづくり委員会】 ・ヴィーガン対応は、店舗側の対応が難しい面があると感じる。【大野町商工会】 ・ヴィーガン対応は、島内で2店舗程度が取り組んでいるが店舗の規模等から本格的な対応は困難と感じる。【宮島町商工会】 ・秋にモン・サン＝ミッシェル市のインフォメーションセンターにおいて、本市の魅力を発信する展示会を予定している。また、小学生を対象とした両国の子どもたちによる教育面での交流を予定している。生まれた交流をどう継続・発展していくかが課題。【観光課】	観光消費額【310億円】 宿泊観光客数【70万人】 観光客一人当たり消費額【4,000円】	
--	--	--	--	--

【呼び込む】

【担当課：観光課／宮島水族館／産業振興課】	2024年度の 具体的な取り組み内容	2024年度の 課題／困りごと、今後の見通し	該当するKPI ／参考数値	備考
-----------------------	-----------------------	---------------------------	------------------	----

戦略4 観光まちづくりのマーケティング／マネジメント機能の強化

課題)宮島口の拠点性を活かし、市内観光の周遊化や滞在性の強化を図ること / 稼ぐ力を備えた観光関連産業への成長を促進させること 生産者と実需者の取引を盛んにすること / 環境との共生やSDGsへの対応により持続可能な経済活動に取り組むこと				
●戦術16)「新たなにぎわい×地元事業者」による稼ぐ仕組み ・観光交流拠点など集客施設を活かし、市民や近隣住民、観光客の人の流れをとらえたビジネスの創出 ・宮島及び宮島口、宮浜温泉等の観光事業者や市内飲食店等での消費を促す地産地消の仕組みの検討、構築 ・DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進による新しい観光事業や移動手段の検討、展開	・教育旅行営業活動の実施(4/22～4/23) 北関東(埼玉、栃木)や福島の旅行会社を訪問し、本市の教育旅行についてのPRや学校側の要望等について聞き取りを行った【観光課、廿遊会、はつかいち森の遊び場協議会】 ・パンフレットを作成【観光課】	・情報発信や営業ツールを強化するため、教育旅行に特化した内容ランディングページやパンフレットの作成を行う。【観光課、廿遊会、はつかいち森の遊び場協議会】 ・パンフレットの情報をバージョンアップしていき、また、予約システムの導入を検討する。【観光課】	宮島口地区開催イベント参加人数【2.5万人】	
	[宮島口] ・はつこいマルシェ 廿日市市内で生産・加工された商品を販売して商品のPRをする。レイアウトを適宜変更し、お客様が入りやすい動線をつくった。【はつかいち観光協会】 けん玉の絵付けや宮工による組子細工のワークショップに実施。【はつかいち観光協会】 ・はつこいマーケット 外国人向けにTシャツは好評であったので、継続販売。サイズが分かるように見本を陳列。また、夏が暑く突然の雨対策での傘、レインウエアーの販売。【はつかいち観光協会】 消費者の動向、POSデータ分析により、新しい商品群を見つける。外国人向けに英語表記PR強化。【はつかいち観光協会】	・はつこいマルシェ いかにして足をとめてもらえるか商品の陳列、レイアウトの検討。【はつかいち観光協会】 ・はつこいマーケット 比較購買を減らし、新しい商品群を見つける。英語表記の方法。【はつかいち観光協会】 ・「宮島口しゃもじ広場」にて、3商工会の青年部で祭りを開催予定(12月)。場所が分かりにくく、導線も良いとは言えないため集客方を工夫する必要がある。【大野町商工会】		
	[大野] ・まちの駅ADOA大野は、開業3年目を迎える。フードコートに新店舗が加入した結果、平日昼の集客が安定化して売上が伸びている。【大野町商工会】	・物販は苦戦中。市内産にこだわりすぎると品揃えが難しいため、地元産品コーナーを確保しつつ市外産品を含め、品揃えを豊富にしていくことが重要かと考える。周辺環境が変化するため今後の方向性を検討する必要がある。【大野町商工会】		
	[宮浜温泉] ・宮浜温泉管理組合と毎月の定例会を開催し、焚き火体験プランの造成などにつながった。【観光課】	・宮浜温泉管理組合と毎月の定例会を開催し、着実に取組を推進する。【観光課】 ・3号源泉を活用した誘客・周遊促進の実施に向けた調査、検討を行う。【観光課】		
	[廿日市] ・廿日の市 廿日の市の来訪者は、年代が高いためLINEの情報発信は中止して、廿日の市に来られた方に、月来訪で400円以上お買い上げの方にスタンプ1個、3個溜まると廿日の市のトートバックを差し上げ、廿日の市をPRする。【はつかいち観光協会】	・廿日の市の出店者の高齢化による退会により、新規出店者の募集で活性化を図り、廿日の市の由来である廿日の市をPRする。【はつかいち観光協会】		
	[佐伯・吉和] ・吉和地域の魅力創出 一社)グッドジャパンや農援隊など吉和地域を盛り上げる企業や団体が活発に活動中。吉和地域(魅惑の里)へのサクラオ&dの進出に伴い、特産館の運営を担当する一社)グッドジャパンが取り組むインバウンドや富裕層に選ばれる商品づくりへの伴走サポートを実施。【佐伯商工会】	・吉和地域の魅力創出 行政の理解やバックアップを受けることで、スムーズな事業開始が望める。継続的な中山間地域振興に対する理解と財政的支援が重要。【佐伯商工会】		
	[宮島] 	・観光地としてデジタルマップ、ルート案内(外国語、ペーパーレス対応)などが必要。情報を一元化して充実させていけるとよい。【宮島町商工会】		

【打って出る】

【担当課：産業振興課／観光課／農林水産課】	2024年度の 具体的な取り組み内容	2024年度の 課題／困りごと、今後の見通し	該当するKPI ／参考数値	備考
-----------------------	-----------------------	---------------------------	------------------	----

戦略5 企業の生産性の向上や新事業の創出支援

課題)大学の知財や金融機関のネットワークを活かした産学金官の連携に取り組むこと / デジタル技術を活用して、生産性の向上に取り組むこと
地域資源・産業特性×デジタル技術による創業を支援すること

●戦術17)大学の知財や金融機関ネットワーク、デジタル技術をつなぐ場づくり ・経営課題の解決や新ビジネスの創出等を促進する産学金官連携の場づくり ・DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進支援 ・IT人材や技術者等の知財を活用するハッカソン等の開催	・ICTKOBOMIYAZIMAと広島西部木材振興協同組合と連携し、木材関連産業におけるデジタル技術の活用として、広島西部木材振興協同組合のHPを作成中。【産業振興課】 ・木振協のHP2月21日リニューアル発信済み【産業振興課】 ・県事業(水産業スマート化推進事業)として、地御前海域でのICTブイ設置及びデータ収集・蓄積が進行中。また、漁場環境データや生産データをプラットフォーム化するシステムの運用を開始したほか、全国初となるかき幼生検出アプリが開発され、漁業者による利用が開始されている。【農林水産課】 ・青年部員を中心に”EBIYA THE BOARD GAME”というボードゲームを活用してのDX経営シュミレーション体験型のDXセミナーの実施【佐伯商工会】	・収集、蓄積した海域データを牡蠣養殖事業へどのように結びつけるか、また利用者をどう増やしていくかが課題。【農林水産課】 ・DXセミナーを2回開催。募集しても受講者が少ないため、青年部と女性部、はつもり(はつかいち森のあそび場協議会)メンバーを中心に声がけを行い習熟度を高める。【佐伯商工会】	産業支援機関を活用した 産学連携の件数【3】	
--	--	--	---------------------------	--

課題)越境ECやD2C等を活用し、ネットによる販路開拓や海外市場への展開を支援すること / デジタル技術を活用して、生産性の向上に取り組むこと
マーケティング／マネジメント機能を備えた観光地づくり＝観光経営を実現すること

●戦術18)EC市場／首都圏／海外の販路開拓支援 ・ネット通販や越境EC等の事業化支援 ・シティセールスの強化による首都圏や海外の販路開拓支援	・東京のひろしまブランドショップTAU出展に伴う出展会議を開催し、テストマーケティングを支援。【佐伯商工会】 ・オンラインショップ「はい、宮島です。」上期では英語サイトで7件受注(国外5件、国内2件)。全体では112件の受注。【宮島観光協会】 ・ハワイ商工会議所との交流会で市内事業者3社がPRを実施。【廿日市商工会議所】 ・市×モン・サン＝ミッシェル市15周年記念ガストロノミーイベントで提供したいちご酢、葱×牡蠣のディップ、いちごについて招へいしたシェフの評価を得た。【佐伯商工会】	・9月に東京のひろしまブランドショップTAUにて3者がテストマーケティングを実施。商品の完成度や一般消費者費の反応を確認。TAUの出展スペースが狭いため大がかりなフェアを実施することは困難。【佐伯商工会】 ・オンラインショップ「はい、宮島です。」について、受注数の減が見受けられる。元来コロナ禍での会員救済の意味合いで始めたもので採算を重視した物ではなかったが、消費期限の異なる複数業者の商品を発送する調整の手間に見合う利益を出し、継続させていくことが今後の課題。【宮島観光協会】 ・事業者のECに対する意識がやや希薄。取組に積極的になれていない事業者も多い。【佐伯商工会】 ・加工食品は輸出の可能性もあるため支援について市のバックアップを求む。【佐伯商工会】 ・牡蠣の輸出は単価向上の可能性はあるが国際情勢等の影響を受けるため、安定的な取引を重視する場合は選択されないのではないか。【宮島町商工会】	産業支援機関等が開催するビジネスフェアへの参加企業数【35社】 産業支援機関等を活用した首都圏、海外での見本市や商談会への参加企業数【20社】	
---	--	--	--	--

【打って出る】

【担当課：産業振興課／観光課／農林水産課】	2024年度の 具体的な取り組み内容	2024年度の 課題／困りごと、今後の見通し	該当するKPI ／参考数値	備考
-----------------------	-----------------------	---------------------------	------------------	----

戦略5 企業の生産性の向上や新事業の創出支援

課題)大学の知財や金融機関のネットワークを活かした産学官の連携に取り組むこと / 生産者と実需者の取引を盛んにすること
デジタル技術を活用して、生産性の向上に取り組むこと

●戦術19)ウィズ／アフターコロナの需要をとらえた事業再構築／新商品・サービスの開発支援、事業継続力の強化 ・新型コロナ対策にともなう業態変更や業種転換等の支援 ・地域資源の活用や企業間のマッチングの場づくり(例：広域的な産業連関強化塾の開催) ・事業継続力の強化を図るセミナー開催、認定制度の活用	・廿日市市生産性向上補助金(第2期)を8件申請(6件採択)。【佐伯商工会】 ・市補助制度(専門家派遣)を活用し、専門家による指導・助言の下で商品開発、テストマーケティング、改良を繰り返して新商品開発(いちご酢、葱×牡蠣のディップ等)を支援。【佐伯商工会】 ・廿日市市生産性向上補助金(第3期)を6件申請うち5件採択。【佐伯商工会】	・菓子業者による研究会を立ち上げ、販路開拓などについて検討中。はつこいマーケットにて地元手みやげフェアを9月下旬に開催。インバウンド向けにも展開する。【廿日市商工会議所】 ・廿日市市生産性向上補助金(第3期)を10件申請予定。【佐伯商工会】	経営革新計画承認企業数【150社】 産業経済団体、産業支援機関等を活用したビジネスマッチングへの参加事業者数【100社】 事業継続力強化計画の認定を受けた市内事業者数【50社】	
--	---	---	--	--

【産業インフラの整備】

【担当課：産業振興課/都市活力デザイン課/観光課/農林水産課】	2024年度の 具体的な取り組み内容	2024年度の 課題／困りごと、今後の見通し	該当するKPI ／参考数値	備考
---------------------------------	-----------------------	---------------------------	------------------	----

戦略6 新たな都市活力の創出

課題)関係機関との協議調整、事業面積の確保に取り組むこと / 新型コロナの影響による企業ニーズや働き方等の変化に対応すること 環境との共生やSDGsへの対応により持続可能な経済活動に取り組むこと				
●戦術20)市内企業の留置・市外企業の誘致 ・新都市活力創出拠点地区(平良地区)に、製造系・業務系・商業系施設を立地誘導 ・土地需要への対応や企業の誘致を推進するため、新たな事業用地の確保に向け、調査・検討を実施 ・オフィス誘致活動の推進(情報サービス業等)	・工場立地法に基づく緑地面積率等の緩和を行うための地域準則条例を制定した。【産業振興課】 《未来物流産業団地》 立地動向に関する調査のため、企業訪問を実施した【産業振興課、都市活力デザイン課】 《新都市活力創出拠点地区》 Aエリア(観光交流施設用地) 事業候補者とともに、事業構想実現に向けた協議や企業訪問等を行った。【産業振興課】 ・「観光交流エリアまちづくり協議会」の定期総会が開催され、現状の進捗状況等が事業候補者から説明された【産業振興課、経営政策課】 Bエリア(工業施設用地) 平良丘陵開発土地区画整理組合事務局とともに、立地予定企業を訪問した。【産業振興課、都市計画課】 ・立地企業向けの支援制度(案)を議会で説明した【産業振興課、都市活力デザイン課、都市計画課】 ・オフィス誘致促進助成金を活用し、本市内に新たに3社が立地した【産業振興課】	《未来物流産業団地》 立地動向に関する調査や企業からのヒアリング結果を踏まえながら立地要件等に関する調査・検討、制度設計を行う【産業振興課、都市活力デザイン課】 《新都市活力創出拠点地区》 Aエリア(観光交流施設用地) ・事業候補者と連携し、事業の着実な推進を図るとともに、同エリアを活用し行政課題の解決につなげるための政策立案を庁内関係課と進めていく【産業振興課、観光課、農林水産課、交通政策課、経営政策課、都市活力デザイン課】 ・県内企業、市内経済産業団体等で構成される「観光交流エリアまちづくり協議会」の定期総会が開催され、現状の進捗状況等が事業候補者から説明される予定【産業振興課、経営政策課】 Bエリア(工業施設用地) 立地企業向けの支援制度を創設する【産業振興課、都市活力デザイン課、都市計画課】 ・Aエリアにおける新たな雇用創出に伴い、時給競争となることへの懸念がある。【廿日市商工会議所】 ・Aエリアに中小規模の事業者が絡むための糸口がまだ見えない。宮浜温泉への影響、時給競争や人材の流動化などが懸念される。【大野町商工会】	新機能都市開発事業地に立地が決定した企業の面積割合【100%】	

【産業インフラの整備】

【担当課：産業振興課／観光課／農林水産課】	2024年度の 具体的な取り組み内容	2024年度の 課題／困りごと、今後の見通し	該当するKPI ／参考数値	備考
-----------------------	-----------------------	---------------------------	------------------	----

戦略7 「オールはつかいち」の産業支援

課題) 地域全体で稼ぐ力を強化する仕組みを構築すること／ マーケティング／マネジメント機能を備えた観光地づくり＝観光地経営を実現すること 越境ECやD2C等を活用し、ネットによる販路開拓や海外市場への展開を支援すること／環境との共生やSDGsへの対応により持続可能な経済活動に取り組むこと				
●戦術21) 廿日市版DMO・DMC、地域商社の設立検討 ・廿日市版DMO・DMCの設立検討：マーケティングの視点から観光戦略の企画実施に取り組み、稼ぐ観光産業の育成、支援 ・廿日市版地域商社の設立検討：特産品の開発販売、商談サポート、観光関連事業の運営、ふるさと納税商品の開発販売等の事業化を支援	・観光データの共有・活用し、施策の企画立案に向けて定例会を開催した(4回)。また、情報発信に特化した部会を(2回)開催した。【観光課】 ・定例会(5回)、情報発信部会(3回)を開催し、事業者向けにDMP事業説明会を開催。 ・情報発信部会で、デジタルマーケティング・プロモーションの検討・試行【観光課】 ・令和7年度DMO設立に向け、DMOの機能・役割の整理など、専門家派遣事業等を活用し調整を図った。【観光課】	・継続的に定例会を行い、また、宿泊事業者等への報告会を実施していく予定だが、蓄積したデータの観光協会や事業者等にとって利用価値のある活用方法を検討する必要がある。【観光課】 ・令和7年度DMO設立に向け、引き続き、DMOの機能・役割の整理など、観光協会や商工会議所等とともに協議・調整する。その際、DMOの機能・役割として、行政、関係機関が実施していない(できない)領域を意識して進める必要がある。【観光課】 ・宮島で多数開催されるイベントの情報が一元化できるとよい。【宮島町商工会】 ・DMOによるデータ収集にあたっては、事前調整をして慎重かつ丁寧に進めてほしい。【宮島町商工会】 ・既存組織に機能をしっかりもたせて、役割を果たすべきではないか。【大野町商工会】	観光消費額【310億円】 宿泊観光客数【70万人】 観光客一人当たり消費額【4,000円】 産業支援機関等を活用した首都圏、海外での見本市や商談会への参加企業数【20社】 産業経済団体、産業支援機関等を活用したビジネスマッチングへの参加事業者数【100社】	
課題) 現行組織を活かした全市横断的な産業支援組織を構築すること / 大学の知財や金融機関のネットワークを活かした産学金官の連携に取り組むこと しごと共創センターと既存支援機関との役割分担を明確にすること				
●戦術22) 産業支援プラットフォーム機能の発揮 ・当面「新型コロナウイルス感染症対策産業振興実行委員会」をオールはつかいちの産業支援プラットフォームとして位置づけ、ネットワークを活かしたビジョンの推進 ・進捗状況を踏まえて、廿日市版DMO・DMC及び地域商社との役割分担や連携の仕組みを検討、構築	旧新型コロナウイルス実行委員会は、令和6年4月1日から同じ構成員で新たな組織「廿日市市産業まちづくり委員会」に衣替えし、市の産業振興にオール廿日市市で取り組む。【産業まちづくり委員会】	・産業振興ビジョンと観光振興計画との整合性をとる必要があるのではないかと。【大野町商工会】 ・産業まちづくり委員会の事業は、市全体で取り組むべきことであり、予算を確保してスキームをさらに強固なものにしてほしい。【廿日市商工会議所】 ・相互の情報交換・対話を大事にしながら、産業まちづくり委員会で市との連携を継続していきたい。【宮島町商工会】	経営革新計画承認企業数【150社】 産業経済団体、産業支援機関等を活用したビジネスマッチングへの参加事業者数【100社】 事業継続力強化計画の認定を受けた市内事業者数【50社】	